

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

生誕百年 映画監督 山中貞雄
Sadao Yamanaka Retrospective at his Centenary

2009年9月15日火-9月27日日

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

協力: 大阪芸術大学藝術研究所「玩具映画および映画復元・調査・研究プロジェクト」、京都府京都文化博物館、プラネット映画資料図書館、株式会社マツダ映画社

9月の休館日:

月曜日、9月28日(月)-10月5日(月)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円／

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

発券=2階受付

●観覧券は当日・当該回のみ有効です。

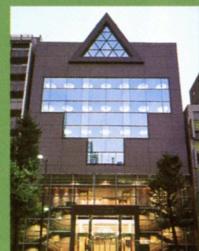
●発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締め切ります。

●学生・シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

●発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



生誕百年
映画監督 山中貞雄



2009

9

NFCカレンダー
2009年9月号

生誕百年
映画監督 山中貞雄
Sadao Yamanaka
Retrospective at his Centenary

最初の黄金期を迎えるようしていた戦前の日本映画界に彗星のように現れ、天才の名をほいいまにしながら、28歳の若さでこの世を去った映画監督・山中貞雄(1909-1938)。

少年時代からの活動写真熱が高じて京都一商卒業と同時にマキノ等持院撮影所に入所した山中は、間もなく嵐寛壽郎プロダクション、東亜キネマで脚本の才能を開花させ「右門捕物帖」「なりひら小僧」など看板シリーズの作者として頭角を現しました。そして1932年、弱冠22歳で発表した監督デビュー作『磯の源太 抱寝の長脇差』が山中の評価を決定的なものとします。

翌年には日活への移籍を果し、一躍伊藤大輔の代打に抜擢されて取り組んだ『薩摩飛脚 剣光愛恋篇』(1933年)、風刺映画の傑作といわれる野心作『盤獄の一生』(1933年)、前進座との初顔合わせとなった『街の入墨者』(1935年)など、一本一本が大きな注目とともに迎えられますが、P.C.L.入社第1作となる1937年の『人情紙風船』発表直後に応招されて中国戦線に赴き、翌年病のため河南省開封で短い生涯を終えます。

山中が生前に監督した作品26本のうち、今日まとまつたかたちで現存するのは『丹下左膳餘話 百萬兩の壺』『河内山宗俊』『人情紙風船』の3本に過ぎませんが、天才監督の伝説はいまなお衰えず、ファンの心をとらえて離しません。山中貞雄の生誕百年を記念して開かれる本企画では、上記の3作品はもちろん、かろうじて断片だけが現存するタイトルや原作・脚本作品、戦後のリメイク作品、さらには山中が学生時代に描いたバラバラ漫画をなど25本(14プログラム)を集めてその偉業を偲びます。

■監督・演出 原作・原案 脚本・脚色 撮影 美術・装置 音楽 出演
■スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
■上映プリントの題名が本カレンダー記載の表記と一致しない場合があります。
■記載した上映分數は、当日のものと多少異なることがあります。
■特集には不完全なプリントが含まれています。



嵐寛壽郎(右)と山中貞雄

1 9/15(火)3:00pm 9/23(水・祝)2:00pm

右門捕物帖十六番手柄 [玩具フィルム]

(52秒・16fps・35mm・無声・染色)

シリーズ第4作。江戸の街に相次ぐ奇怪な辻斬り。遭体の傍らに残されていたのは金槌と五寸釘、そして呪いの藁人形…。事件の背後には、岩槻藤堂家のお家騒動が隠されていた。大阪芸術大学藝術研究所「玩具映画プロジェクト」が2003年に復元したプリント。(プリント提供:玩具映画および映画復元・調査・研究プロジェクト)

'31(東亜キネマ京都)監仁科熊彦[○]佐々木味津三[○]山中貞雄[○]藤井春美[○]嵐寛壽郎

むつり右門捕物帖一番手柄 南蠻幽霊 [玩具フィルム]

(99分・16fps・16mm・無声・白黒)

新人の山中が一躍有望な脚本家として注目を集めきかけをついた「右門捕物帖」シリーズの第1作。八丁堀の役人慰労会の席上、与力と同心の眼前で起きた大胆不敵な殺人事件を解決すべく、捕物名人・右門が謎さばきに乗り出す。偏屈で無口な「むつり右門」は「鞍馬天狗」と並ぶ嵐寛壽郎の当り役となり、戦前だけで24作が発表されたが、山中は1932年に自ら監督した『三十番手柄 帯解法』まで8本の脚本を執筆している。(プリント提供:プラネット映画資料図書館)

'29(東亜キネマ京都)監橋本松男[○]佐々木味津三[○]山中貞雄[○]藤井春美[○]嵐寛壽郎、頭山桂之介、尾上紋弥、嵐橋右衛門、平塚泰子、瀬川路之介、木下双葉、大和勇一、鳴戸史郎、声望儀之助

2 9/15(火)7:00pm 9/27(日)11:00am

右門廿五番手柄 七七なぞの橙 [玩具フィルム]

(51秒・16fps・35mm・無声・調色)

シリーズ第7作。何者の仕業か、江戸の方々で橙を載せた駕籠がうち捨てられているのが見つかる。それに続いて起きたのは、岡っ引ばかりを狙った連続殺人事件であった。上映プリントには右門と暗殺団の剣戟場面が残されている。

'32(東亜キネマ京都)監仁科熊彦[○]佐々木味津三[○]山中貞雄[○]藤井春美[○]嵐寛壽郎

右門捕物帖六番手柄

(66分・24fps・16mm・無声・活弁トーキー版・白黒)

シリーズ第2作。將軍家光の日光参拝が発表されて間もなく、その道中にあたる武州忍の城下で辻斬り事件が相次ぐ。右門は、その背後に將軍暗殺計画があることを突き止め、1929年末に一年志願兵として福知山歩兵第二十連隊に入隊した山中が軍務の傍ら執筆した脚本の一つ。現存するのは1935年に『仁念寺奇談』として改題再公開された版。松田春翠の活弁トーキー版を上映する。(プリント提供:マツダ映画社)

'30(東亜キネマ京都)監仁科熊彦[○]佐々木味津三[○]山中貞雄[○]藤井春美[○]嵐寛壽郎、頭山桂之介、尾上紋弥、原駒子、今成平九郎、鳴戸史郎、片岡左衛門、嵐橋右衛門、清川清、嵐壽之助、嵐寛枝、岡本正男

3 9/16(水)3:00pm 9/26(土)4:00pm

鼠小僧次郎吉 道中の巻 [玩具フィルム]

(30秒・16fps・35mm・無声・染色)

『江戸の巻』『道中の巻』『再び江戸の巻』からなる三部作の第二篇。大阪芸術大学藝術研究所「玩具映画プロジェクト」が今年新たに復元したプリント。正体を見破られた次郎吉が捕手に包囲され乱闘となる場面が残されている。(プリント提供:玩具映画および映画復元・調査・研究プロジェクト)

'33(日活京都)監山中貞雄[○]大佛次郎[○]吉田清太郎[○]大河内傳次郎、中村英雄、鳥羽陽之助

水戸黄門 来國次の巻

(50分・24fps・16mm・無声・白黒)

大佛次郎の新聞連載小説を映画化した三部作の第1篇。愛刀・来国次を浪人・立花甚左衛門に盗まれたことがきっかけで安藤六衛、千代の兄妹と知り合った水戸光圀が、將軍繼承にかかる陰謀の密書を手に入れる。山中の脚色では光圀公が親しみやすい庶民的な人物に描かれている。大河内傳次郎が水戸光圀と立花甚左衛門を二役で演じる。(プリント提供:マツダ映画社)

'34(日活京都)監荒井良平[○]大佛次郎[○]山中貞雄[○]竹村康和[○]大河内傳次郎、澤村國太郎、市川百々之助、鳥羽陽之助、伊村利江子、澤田清、林誠之助、浅香新八郎、高勢実乗、大崎史郎、寺島貢

水戸黄門 密書の巻

(49分・24fps・16mm・無声・白黒)

密書を手にした甚左衛門と六衛、そして黄門一行が柳沢一味の攻撃をかわしながら江戸へ向かう。しかし、ついに六衛が捕らえられてしまう。(プリント提供:マツダ映画社)

'35(日活京都)監荒井良平[○]大佛次郎[○]山中貞雄[○]竹村康和[○]大河内傳次郎、澤村國太郎、市川百々之助、林誠之助、鳥羽陽之助、伊村利江子、寺島貢、清川莊司、久米謙、市川正二郎、高津愛子

4 9/16(水)7:00pm 9/27(日)2:00pm

風流活人劍 [玩具フィルム]

(104秒・16fps・35mm・無声・白黒)

山中が千恵プロに出向して監督した最初の作品。財宝の在処を示した絵画面の争奪をめぐる活劇だが、作品の隨所に『出来ごころ』など小津安二郎作品の影響を指摘された。上映プリントには、千恵藏演じる貧乏浪人が竹光を下げて盜賊団との決戦に挑むラストの剣戟場面が残されている。

'34(千恵藏プロ)監山中貞雄[○]野村胡堂[○]吉田清太郎[○]片岡千恵藏、瀬川路三郎

水戸黄門 血刃の巻

(92分・18fps・35mm・無声・白黒)

三部作の最終篇。六衛を救うため柳沢屋敷に入る甚左衛門。一方、江戸に現れた水戸光圀を偽者と断じた藤井紋太夫は亂心の噂をたてて老公失脚を企てる。なお、本作は大河内傳次郎にとって最後の無声映画となつた。

'35(日活京都)監荒井良平[○]大佛次郎[○]山中貞雄[○]竹村康和[○]島康平、山田虎猛一、川口市太郎[○]大河内傳次郎、澤村國太郎、市川百々之助、山本禮三郎、高津愛子、伊村利江子、林誠之助、市川正二郎、久米謙、清川莊司

5 9/17(木)3:00pm 9/23(水・祝)5:00pm

丹下左膳餘話 百萬兩の壺

(91分・35mm・白黒)

『丹下左膳 第1篇』(1933年)『丹下左膳 剣戟篇』(1934年)の伊藤大輔にかわり、山中が監督にあたった異色の左膳映画。ご平凡な壺が值打ち物だと言われたことから騒動が巻き起こる。尺取狂歌の矢場に居候する用心棒の丹下左膳が孤児の世話を焼くという設定は、アメリカ映画『歓呼の涯』(1932年)からヒントを得たものであったが、軽妙な喜劇仕立ての展開は当時の時代劇ファンを驚かせた。

'35(日活京都)監山中貞雄[○]安本淳[○]島康平[○]西梧郎[○]大河内傳次郎、喜代三、澤村國太郎、花井蘭子、深水藤子、宗春太郎

丹下左膳餘話 百萬兩の壺

[玩具フィルム] (67秒・35mm・無声・白黒)

作品の見せ場を集めたダイジェスト版で、戦後再公開時にGHQの検閲で削除された剣戟場面の一部が含まれている(音声は欠落)。フィルムセンター所蔵の玩具フィルムの中から確認されたものである。壺を売りに出かけたちよ安を追う左膳の行く手におしゃかの文吉たちが立ちふさがり乱闘となる。



丹下左膳餘話 百萬兩の壺

6 9/17(木)7:00pm 9/22(火・祝)2:00pm

海鳴り街道 [玩具フィルム]

(68秒・24fps・35mm 無声・染色)

山中が日活で監督した大河内傳次郎の主演映画10本の最後を飾った作品。御用の目を逃れて故郷を訪れた稻葉小僧新助。だが、目明し勘兵衛の追跡が再び新助を窮地に追い込む(オリジナルはトーキー)。上映プリントには新助と捕手の乱闘場面が残されている。(プリント提供:プラネット映画資料図書館)

'36(日活京都) 山中貞雄 三村伸太郎 梶原金八 三井六三郎 西橋鶴 大河内傳次郎, 今成平九郎

大菩薩峠 甲源一刀流の巻

(77分・35mm・白黒)

中里介山による未完の小説を映画化。監督は当初予定された伊藤大輔の後を稻垣浩が引き継ぎ、山中と荒井良平が応援監督にあたった。稻垣によれば「人の大勢出る立廻り等凄ごみのあるところは山中貞雄、芝居がかったところは僕、荒井良平がつなぎを撮った」。山中の担当には奉納試合の場面などが含まれている。

'35(日活京都) 山中貞雄 三村伸太郎 武田寅男 谷本精史 岛康平 角井平吉 織田金蔵 山根勇作 山田虎猛一 吉田儀一 西橋鶴 高橋敏夫 大河内傳次郎 入江たか子 黒川彌太郎 澤田清 岡謙二 山本嘉一 中田弘二 市川小文治 清川莊司 鳥羽陽之助 深水藤子

7 9/18(金)3:00pm 9/22(火・祝)5:00pm

荒木又右衛門 [玩具フィルム]

(30秒・16fps・35mm・無声・白黒)

クレジットの脚本は梶原金八名義だが、稻垣浩によれば「山中が一人で書いたもの」である(オリジナルはトーキー)。「三十六人斬り」で知られる山場、鍵屋の辻の決闘の一部が残されている。

'36(千恵蔵プロ) 萩原原遼 梶原金八 石本秀雄 片岡千恵蔵 月形龍之介

河内山宗俊 (81分・35mm・白黒)

『街の入墨者』(1935年)に続き、山中が心酔する前進座と組んで監督した2本目の作品。河内山宗俊と金子市之丞が、弟・広太郎(直侍)の不始末がもとで身売りすることになった甘酒売りの娘・お浪を救う決意をする。河竹黙阿弥「天衣紗上野初花」の登場人物を市井の人々に置き換え、「番をつけた現代劇」を代表する作品の一つとなった。お浪役に抜擢された当時16歳の原節子も注目を集めた。

'36(日活京都=太秦発声) 山中貞雄 三村伸太郎 町井春美 西橋鶴 河原崎長十郎 中村翫右衛門 市川扇升 原節子 山岸しづ江 助高屋助蔵 清川莊司 高勢実乗 鳥羽陽之助 衣笠淳子 三好文江

8 9/18(金)7:00pm 9/26(土)1:00pm

山中貞雄パラパラ漫画アニメ*

戦國群盗傳 [総集篇] (101分・35mm・白黒)

伊豆の城主土岐左衛門秀虎の長子・太郎虎雄が弟の陰謀で城を追われ野武士の首領となる。脚本の「梶原金八」は、1934年から36年にかけて京都鳴滝に集った若い映画人たち(八尋不二、稻垣浩、藤井滋司、山中貞雄、三村伸太郎、瀧澤英輔、土肥正幹、萩原遼)による創作団体「鳴滝組」の共同筆名。本作では、一足先にP.C.L.に入社した瀧澤英輔のため、当初三好十郎がシラーの戯曲「群盗」から翻案したシナリオを「山中貞雄が全面的に書きなおした」(中村翫右衛門)。

'37(P.C.L.) 梶原金八 三好十郎 梶原金八 唐澤弘光 北猛夫 山田耕作 河原崎長十郎 中村翫右衛門 河原崎國太郎 山岸しづ江 千葉早智子 橋小三郎 伊達里子 山縣直代

9 9/19(土)1:00pm 9/27(日)5:00pm

小笠原壹岐守 [玩具フィルム]

(52秒・16fps・35mm・無声・調色)

同年の『磯の源太 抱寝の長脇差』『小判しぐれ』に次ぐ監督第3作。生麦事件を背景に、攘夷派の標的となつた老中小笠原壹岐守長行の熱誠を描いた歴史ものの大作。上映プリントでは、壹岐守を刺客が襲撃する場面が残存している。

'32(寛寿郎プロ) 山中貞雄 佐々木味津三 藤井春美 嵐寛寿郎

人情紙風船 (86分・35mm・白黒)

P.C.L.入社第1回、そして山中の遺作となった作品。歌舞伎の「妻結新三」(「梅雨小袖昔八丈」)を元に、長屋に暮らす人々の逃げ場のない不安が描かれる。当初の脚本では「はかないながらも明日への新しい希望をもつ生活」を描こうとした三村伸太郎は、山中自身による大幅な改変を経て完成した作品の「暗い厭世的な翳」に愕然としたという。山中のとともに召集令状が届くのは本作が封切られたその日のことであった。

'37(P.C.L.) 山中貞雄 三村伸太郎 三村明 河久保一雄 太田忠一 河原崎長十郎 中村翫右衛門 霧立のぼる 御橋公 坂東調右衛門 市川樂三郎 市川菊之助 岸かず子 原耕紗子 山岸しづ江

12 9/20(日)2:00pm 9/24(木)3:00pm

山中貞雄パラパラ漫画アニメ*

戦国群盗傳 (115分・35mm・カラー)

『戦国群盗傳』(1937年)のリメイク(東宝スコープ)。アメリカ製西部劇とも比較された前作で助監督を務め「特に馬の出るモブ・シーンの経験が生かされて、『七人の侍』や『蜘蛛巣城』になる」と語った黒澤明が潤色にあたり、作品のダイナミックな要素が一層強調されている。

'59(東宝) 杉江敏男 三好十郎 山中貞雄 鈴木誠一 北猛夫 団伊玖磨 三船敏郎 鶴田浩二 司葉子 上原美佐 志村喬 千秋実 平田昭彦 河津清三郎

13 9/20(日)5:00pm 9/25(金)3:00pm

山中貞雄パラパラ漫画アニメ*

がんばれ! 盤獄 (94分・35mm・カラー)

『諷刺映画』の傑作として知られる1933年の『盤獄の一生』(山中貞雄脚本、監督)のリメイク(東宝スコープ)。武州の田舎侍・阿地川盤獄が人間の善意と誠実を求めて彷徨う。再映画化にあたり、山中の才能をいち早く評価したことで知られる映画評論家・岸松雄が脚本に参加している。

'60(宝塚映画) 松林宗惠 白井喬二 岸松雄 新藤兼人 堀成 山中貞雄 岡崎宏三 加藤雅俊 宅孝二 小林桂樹 志村喬 富士真奈美 小泉博 島崎雪子 山茶花究 安部徹 笠智衆 小文字まり 石田茂樹 団令子

14 9/22(火・祝)11:00am 9/24(木)7:00pm

山中貞雄パラパラ漫画アニメ*

恋と十手と巾着切 (66分・35mm・白黒)

山中が1932年に阿古三之助の筆名で脚本を書いた『恋と十手と巾着切』(広瀬五郎監督)のリメイク(東映スコープ)。敵同士だが仲の良い巾着切・跡見す三次と御用間・てつきり鉄五郎を主人公に据えた喜劇。ある日、三次が誤って仇討ちの免状を掏り取ったことから騒動が起こる。

'63(東映京都) 萩原原遼 山中貞雄 梶原金八 河崎喜久三 河東安英 太田忠一 河原崎長十郎 中村翫右衛門 千葉早智子 高峰秀子 清川玉枝 山田五十鈴 助高屋助蔵 橋小三郎 山崎進蔵

*特別上映▶プログラム8, 11-14

山中貞雄パラパラ漫画アニメ

(2分30秒・デジタル素材での上映)

山中が学生時代に使用した辞書に描かれた3篇のパラパラ漫画。京都文化博物館が2003年に所蔵資料を撮影、動画化したもので、剣戟場面、疾走する馬などが見事な躍動感で表現されている。(提供:京都府京都文化博物館)

10 9/19(土)4:00pm 9/23(水・祝)11:00am

嗚呼 山中貞雄 ~山中貞雄作品集~

(23分・24fps・16mm・無声・白黒)

現存するフィルムやスチル写真を集めめたアンソロジー(松田春翠編集)。幻の監督第一作『磯の源太 抱寝の長脇差』をはじめ『薩摩飛脚 剣光愛恋篇』『闇の弥太ッペ』などの貴重な断片映像が含まれている。(プリント提供:マツダ映画社)

'85(マツダ映画社)

その前夜 (86分・35mm・白黒)

山中が従軍中も映画化に意欲をのぞかせていた「木屋町三條」の原案を、梶原金八が脚色して完成、「追善映画」として公開された。稻垣浩によれば、藤井滋司と稻垣が第一稿の執筆にあたったという。幕末の京都で起きた新選組の池田屋襲撃事件を、近所の旅館大原屋の視点で描いている。

'39(東宝映画) 萩原原遼 山中貞雄 梶原金八 河崎喜久三 河東安英 太田忠一 河原崎長十郎 中村翫右衛門 千葉早智子 高峰秀子 清川玉枝 山田五十鈴 助高屋助蔵 橋小三郎 山崎進蔵

11 9/20(日)11:00am 9/25(金)7:00pm

山中貞雄パラパラ漫画アニメ*

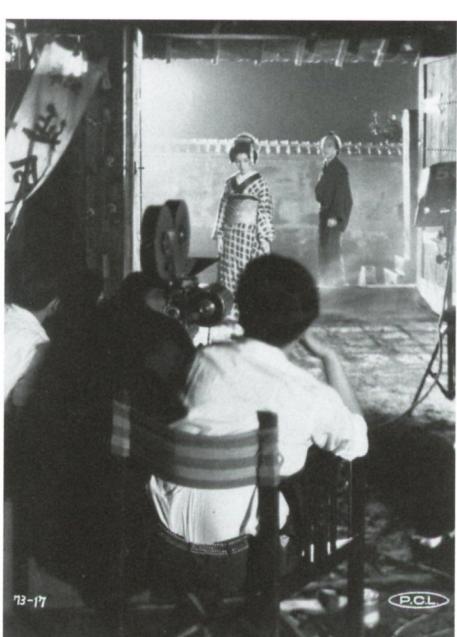
江戸遊民伝 (104分・35mm・白黒)

『河内山宗俊』のリメイク(松竹グランドスコープ)。「鳴滝組」最年少のメンバーで、公私にわたり深く山中の影響を受けたと言われる萩原遼が監督にあたった。前作の河原崎長十郎と中村翫右衛門にかわり近衛十四郎と宇野重吉が、河内山宗俊と金子市之丞をそれぞれ演じている。

'59(松竹京都) 萩原原遼 三村伸太郎 山中貞雄 服部幹夫 水谷浩一 米山正夫 近衛十四郎 宇野重吉 松本錦四郎 青山京子 沢村国太郎 達磨三智子 山茶花究 藤間紫 永田光男



人情紙風船



『人情紙風船』演出中の山中貞雄(後ろ姿)



河内山宗俊

